

令和8年度 連盟運営細則

1. 開会式及び代表者会議

- ① リーグ戦開幕式及びトーナメント大会の開会式は8時、代表者会議7時30分とする。
- ② その他一般リーグ戦は各会場の都合により開会。
- ③ 下級生大会については、開会式は行わない。(春季大会は除く)
- ④ 代表者1名は、事前に本部に集合し伝達・注意・確認事項の徹底を行う。
- ⑤ 代表が参加できない場合は、代理の者が出席すること。遅れた場合はペナルティーを課す。
- ⑥ 代表者1名は、全ての試合終了後の代表者会議に出席すること。
- ⑦ 開会式には、選手・監督・コーチ・審判は必ず整列して参加をする事。
- ⑧ 特別な事情がない場合、開会式不参加者は、試合に参加できないものとする。
- ⑨ 寒い時期の開会式・本部挨拶時に、選手の健康管理上ジャンバーの着用を認める。

2. リーグ戦

- ① リーグは、5リーグとし、総当り3試合で行う。
- ② リーグ戦は、前年度優勝チームの代表を中心に運営し、日程調整や結果等を掌握し、取りまとめる事。
- ③ 8月末迄には終了。日程決定後は速やかにHP担当者へメールにて連絡する事。
- ④ 選手への健康に配慮し、開催日での1チームの試合数の上限は3試合とする。
- ⑤ リーグ戦においては引き分けを採用する。リーグ戦での順位決定は、勝率とする。
- ⑥ 同率の場合の順位決定は当該チームの直接対決の勝数が多いチームが上位とし、直接対決で相星の場合(三つ巴も含む)は決定戦を行う。
- ⑦ ☆勝率について ⇒ $\text{勝率} = \text{勝数} \div (\text{勝数} + \text{負数})$ ※引き分けは、分母に含めない
- ⑧ 試合方法(リーグ戦) 80分以内で7回終了同点であれば2回以内のタイブレイカーを行う。

3. トーナメント大会

- ① トーナメント大会は組み合わせの若番が1塁側とする。
- ② トーナメント大会で会場を離れる場合は、選手挨拶の時に本部に届ける事。
- ③ 試合方法(トーナメント) 制限時間(80分)以内であれば7回終了同点の場合、タイブレイカーとする。
但し、健康に配慮し9回までとし、なお同点の時は抽選により勝敗を決める。(決勝も同様)
- ④ トーナメント大会は原則、1試合目のチームのみフィールドイングを行う。(5分)
- ⑤ ベスト8進出チームの代表は1日目終了後に行われる打合せに出席の事。
欠席の場合はベスト8の出場権を失う事もある。代表・監督にはペナルティーを課す。
- ⑥ ベスト8の試合は8時30分フィールドイング開始予定。
- ⑦ コールドゲームは4回以降、7点差。降雨、雷、日没等による打ち切り試合も同様とする。
トーナメント大会の決勝戦も同様とする。
- ⑧ 全日本広島大会は、新人戦ベスト4のチームにシード権を与える。
- ⑨ 選手権大会(本戦)の出場枠は12チームとする。また優勝旗の獲得数に応じてシード権を与える。

4. チーム登録等に関する事

- ① 各チームの連盟への登録名は、クラブ名とする。
- ② 所属選手登録は1月末日までに氏名・新学年を記載した名簿をメールにて事務局まで提出する事。
変更が生じた場合は、指定書式により事務局まで提出すること
名簿に記載のない選手は出場できません。(二重登録も不可)
- ③ シーズン途中における移籍、他チームからの合流等は認めない。(転校を除く)
但し、休部したチーム及びそれにより他チームにて登録した選手は、チーム復活を条件に旧所属チームの選手として登録し直し、後期の大会に出場する事ができる。
- ④ 各試合でのベンチ入り登録選手は25名以内とする。(但しメダルは20個とする)
部員不足のチームに関して
- ⑤ 新年度登録時に部員不足が生じた場合、総会までに申告し、総会時に承認されたチームに限り参加することが出来る。
- ⑥ **⑤以外で部員不足が生じた場合、速やかに連盟に報告を行い臨時総会にて承認を得る。**
- ⑦ **登録期間中の大会については所属チームに再登録することはできない。**
- ⑧ 勝敗については、試合結果を採用する。
- ⑨ 補充選手は、所属チームにおいても選手として登録することが出来る。
- ⑩ 合併についても同様に申請する事。
合併チームは総会時及び臨時総会に承認されたチームに限り参加することができる。

5. 服装等について

- ① 代表は、(代表代理) **代表帽子を着用**し、各大会では運営委員として協力する事。
- ② 各チーム代表は、夏季(5月～10月)の間は白のポロシャツを着用すること。
- ③ 記録員の服装はスポーティーな物で、**チームの帽子を着用**する事。
- ④ コーチアスボックスには、ヘルメット着用の上、入る事。
- ⑤ 公式戦に参加するチームは、正規の服装をした有資格者2名以上の審判員を帯同して参加する事。
但し、食協旗大会は3名以上のご協力をお願いします。

6. 審判に関して

- ① 各大会時(リーグ戦を含む)には、代表者会議と同時に、帯同審判は全員が集合し打ち合わせを行い、終了後、全員で球場設営を行う。
- ② 審判資格のある代表・コーチは、審判をする事が出来る。ただしその場合、審判服を着用の事。
- ③ リーグ戦に関しては、担当理事および運営幹事の方針で審判の振り分けができる。(自チーム審判等)
- ④ ボールボーイは、資格を持たない保護者もする事が出来る。
- ⑤ 3月に行われる3種審判・記録認定試験には、多数受験するようチーム内で検討してください。
尚、3月に行われる各区での既得者審判伝達会にも参加し、チーム内で変更点等をよく確認する事。

7. 親善試合について

- ① リーグ戦期間中は他地区・他地域からの招待試合がある場合、速やかに担当幹事と連盟事務局に連絡し、日程調整がスムーズに行えるようにする事。
- ② 他地区での親善大会等については要相談
- ③ 各チームで親善大会を開催する場合、速やかに事務局に文書で通知する事。(電子メール可)
- ④ 各チームは連盟の行事を優先する事。(学校行事・子ども会・学区行事は除く)

8. 出島沖グラウンドの使用について

- ① 各チームは、トイレ・手洗い用の水を持参する事。
- ② 各球場の当番チームは、ペーパー・汚物処理及び終了後の清掃をすること。
- ③ トーナメント大会・リーグ戦に乗り入れる車は、各チーム**6台**までとする。
但し、球場当番のチームは**7台**、また駐車場係の必要なときには全チーム協力する事。
会場に入る際には、必ず駐車許可証を提示する事。

9. その他

- ① 連盟の連絡は、各チームのメール担当者(代表を含む)宛に電子メールにて報告する。(2名までとする)
- ② 広島地区リーグ旗大会に於いては、雨天抽選優勝チームの出場はできないものとする。
- ③ 全国大会、中・四国大会に出場のチームは、要項・登録名簿の写しを事務局に提出する事。
- ④ 連盟主催の試合は、選手・代表・監督・コーチ(2名)・記録員以外はベンチに入ることができない。
- ⑤ ベンチ内に入る指導員及び記録員は資格取得者が入ることが望ましい。
- ⑥ 選手及び指導者は保険に加入するまでは試合に出ることが出来ない。
- ⑦ 指導者だけでなく保護者・審判なども必要に応じて保険に加入しておく事。
- ⑧ 連盟主催大会での試合中の傷病・事故等は応急処置のみとし、責任を負わない。
- ⑨ 試合会場として小学校を利用する場合、当該の代表(幹事)は、AEDの有無保管場所を確認しておく事。
- ⑩ 小学校で大会を開催する場合は、当該チームが当番を担当する。
- ⑪ 小学校で大会を開催する場合の各チームの駐車台数については当該チームが指定する台数とする。

10. ペナルティーについて

代表者会議に不参加及び遅刻

返信期日の遅れ(**不参加の場合も必ず期日までに返信**)